



私の命は、もう大丈夫だから――



2024
6.14
FRI
Roadshow

大泉洋 菅野美穂
福本莉子
井美羽 上杉柊平 徳永えり 溝島真之介 戸田菜穂
川栄李奈 / 有村架純 松村北斗 光石研
原作：清原夏子「アトムの心臓」『ディア・ファミリー』23年読者の記録（1644）
監督：月川翔 脚本：藤沢敦 音楽：兼松義典

娘の命に残された時間は10年。人工心臓の開発に挑んだ家族の〈愛の実話〉。

©2024「ディア・ファミリー」製作委員会

2025年2月8日 土 取手ウェルネスプラザ〈多目的ホール〉

①10:00上映（9:30開場） ②13:00上映（12:30開場） 上映時間 116分

入場料 1,000円（税込）

■各回先着300名

■申込方法：取手ウェルネスプラザへ電話にてお申込み下さい。

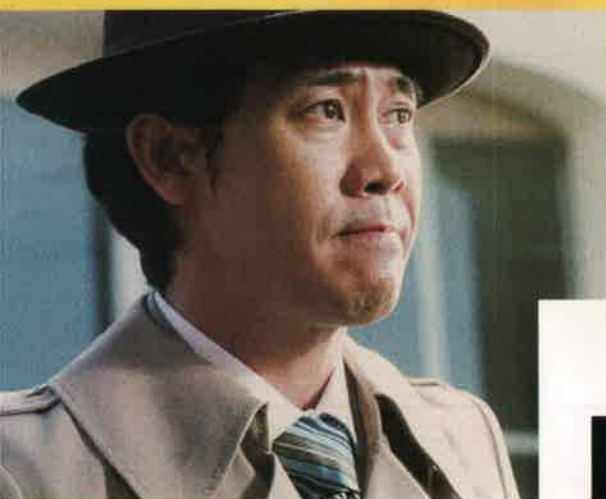
●チケット申込・お問合せ 取手ウェルネスプラザ ☎0297-71-2122（受付時間 9:00～21:00）

あなたは知っていますか——？

世界で16万人の命を救った「命のカテーテル」を。

そして、そのカテーテル誕生に隠された奇跡の実話、

絶対にあきらめない家族の〈愛の物語〉を。



Story

1970年代、心臓疾患は日本人にとって致命的な病だった。そんな状況下において、娘の佳美は、心臓に先天的な疾患を抱え、幼い頃に「余命10年」を宣告されてしまう。絶望の最中、小さな町工場を経営する父・宣政は、娘のために自分が人工心臓を作ると立ちあがる。医療には全くの門外漢。ズブの素人の医療器具開発は、限りなく不可能に近く前途多難な道程だが、「ただ娘の命を救いたい」という一心で父と母は人工心臓の勉強に励み、有識者に頭を下げ、資金を用意して何年もその開発に時間を費やすのだった。しかし「素人にできるはずがない」とあらゆる医療関係者にそっぽを向けられ、命のタイムリミットは刻一刻と迫っていき—。医療の世界とは全く無縁だった平凡な町工場の男が、後に医療界を揺るがすことになるあまりにも大きな奇跡を生み出した理由は、たったひとつ。家族への愛だった。



劇場内での撮影
撮影・録音は別冊です
www.kodansha.co.jp
0120-550098